



OYACO plus

健康手帳アプリ

概要版

ご案内資料

TOPIC

一般社団法人
ICTまちづくり共通プラットフォーム推進機構

OYACO plus はココが違う！

1

OYACO plusは市民をしっかりと特定して提供するサービスです
対象の市民でなくても、だれでも使えてしまうサービスではありません。

2

自治体の保有するデータを市民に電子的に提供可能です
正確な本人認証機能に基づき、乳幼児健診データ、予防接種データの提供が可能です。

3

当社がデータを囲い込むことは致しません
ユーザーからの申請によってデータを自身でダウンロードすることが可能です。

4

胎児や乳幼児期のデータを起点に“生涯のデータ”を大切にします
個人の健康に関するデータとして胎児期、乳幼児期以降も継続的なデータ利活用を目指します。



OYACO plus

健康手帳アプリ

母子だけではなく「親子の健康手帳」という意味から「OYACO」をメインの愛称とし、母子保健を取り巻く様々な方々との連携を「+ (plus)」と表現し「OYACO plus」に。

vision

親子の健康記録（データ）は親子そのものに帰属し、生涯に渡ってそのデータは保持され、いつでもどこでも簡便に且つ安全に閲覧でき、本人の意思によって流通もできるべき = **PHRの位置づけ**

concept

個人の記録 = 「**PHR**」と、ビューアーとしての「**アプリ**」の融合それを支える「**公的個人認証**」という三位一体の提供



TOPICはマイナンバーカードの公的個人認証を扱う「**総務大臣認定**」を受けています



トップページ



お知らせ、成長の記録、健診結果、予防接種等

育児スタンプ



日々のお子様のアクションをスタンプで管理、可視化できる

メモリアルバッジ



初めて〇〇した日、等をバッジの形式で記録することが可能です

健診データ



乳幼児健診データ（自治体連携、自己入力、マイナポータル）を管理

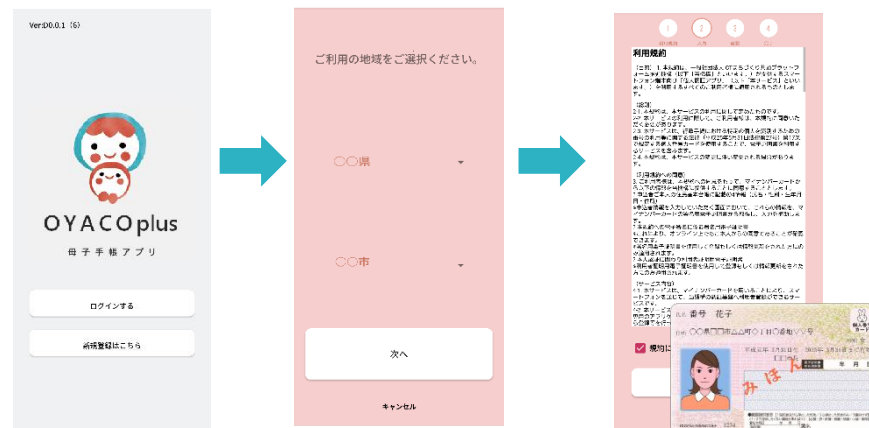
予防接種履歴



予防接種履歴データ（自治体連携、自己入力、マイナポータル）を管理

マイナンバーカードで登録

マイナンバーカードの公的個人認証機能を用いて利用者登録をすることで、ユーザの居住地を特定することが可能です。初期登録はQRコードで簡易に登録をし、その後マイナンバーカードで市民登録をする方法もございます。



※自治体とのデータ連携が行われた状態でご使用できます。

(公財) 母子衛生研究会との連携

「OYACO plus」では公益財団法人母子衛生研究会と連携し、母子健康手帳副読本、予防接種のスケジュール、発育曲線などのコンテンツを提供しています。母子衛生研究会の公益的な活動の趣旨に賛同し、今後もさらなる連携を検討しています。



妊娠週数、月齢によりその時期に必要な読み物を表示します。



【参考資料】 デジタル田園都市国家構想推進交付金

3

デジタル田園都市国家構想推進交付金、タイプ1の事例として当社のアプリが記載されました。

デジタル田園都市国家構想推進交付金（デジタル実装タイプ概要）

＜令和3年度補正一般会計 20,000百万円の内数＞

目的

デジタルを活用した意欲ある地域による自主的な取組を応援し、「デジタル田園都市国家構想」を推進するため、デジタルを活用した地域の課題解決や魅力向上の実現に向けた地方公共団体の取組を交付金により支援。

概要

デジタル化を活用した地域の課題解決や魅力向上に向けて、
・ データ連携基盤を活用し、複数のサービス実装を伴う取組（TYPE2・3）
・ 他の地域等で既に確立されている優良モデル・サービスを活用した実装の取組（TYPE1）
を行う地方公共団体に対し、その事業の立ち上げに必要なハード／ソフト経費を支援。

＜TYPE別の内容＞

TYP E3	データ連携基盤を活用し、早期にサービスの一部を開始	国費上限：6億円 補助率2/3
TYPE 2	複数のサービスの実装を伴う取組	国費上限：2億円 補助率1/2
TYPE 1	優良なモデル・サービスを活用した実装の取組（相互運用性を考慮）	国費上限：1億円 補助率1/2

※申請上限数：都道府県 9事業 市町村 5事業

○要件（TYPE共通）

- デジタルを活用して地域の課題解決や魅力向上に取り組む
- コンソーシアムを形成する等、地域内外の関係と連携し、事業を実行的、継続的に推進するための体制の確立

※TYPE2・3については、官民および民間事業者等での相互連携・デジタル原則への準拠を求める。

＜対象事業の例＞

TYPE2・3

データ連携基盤を活用したスマートシティ構想等

TYPE1

観光MaaS 相乗りマタニティ スマート農業

母子健康手帳アプリ 遠隔ライブ授業

＜中長期的取組＞

事例の採択・フォローアップや好事例の情報発信により、地域のデジタル実装を強力に支援し、「デジタル田園都市国家構想」を推進。

2021年度	2022～2024年度	2024年度以降
対象事業の採択	対象事業の採択	2024年度末 デジタルの活用による地域の課題解決や魅力向上の推進

デジタル田園都市国家構想推進交付金 デジタル実装タイプ（TYPE1事例①）

TYPE2またはTYPE3との組み合わせの実装も可能

スマートアプリ（MaaS）を活用した観光振興・まちづくりの取組や、センサーを活用した鳥獣害対策、母子健康手帳アプリ等による子育て支援等、デジタルを活用して地域の課題解決や魅力向上に取り組む

デジタル田園都市国家構想推進交付金（内閣府地方創生推進室）
令和3年度補正予算額 200.0億円

事業概要・目的

- デジタル技術の活用により、地域の個性を活かしながら、地方を活性化し、持続可能な経済社会を目指す「デジタル田園都市国家構想」を推進するため、地方からデジタルの実装を進めていくことが喫緊の課題。
- このため、デジタルを活用し、意欲ある地域による自主的な取組を応援するため、デジタルを活用した地域の課題解決や魅力向上の実現に向けて、国が交付金により支援する。
- 具体的には、①デジタルを活用した地域の課題解決や魅力向上に向けて、他の地域等で既に確立されている優良なモデル等を活用して迅速な横展開を行う事業や、②地方への新たなひとの流れを創出するためサテライトオフィスの施設整備等に取り組む地方公共団体を支援する。

効果

意欲ある地域における地域の課題解決や魅力向上に向けた先進的なデジタル実装の取組を支援し、地方から国全体へのボトムアップの成長を実現することにより、デジタル田園都市国家構想を推進。デジタルの実装に取り組む地方公共団体：1000団体（2024年度末）を目指す。

タイプ概要

（1）デジタル実装タイプ	（2）地方創生テレワークタイプ
デジタル化を活用した地域の課題解決や魅力向上に向けて、デジタル原則とアーキテクチャを遵守し、オープンなデータ連携基盤を活用する。モデルケースとなり得る取組（TYPE2,3） ・他の地域等で既に確立されている優良モデル・サービス（※）を活用し、実装の取組（TYPE1）を行う地方公共団体に対し、その事業の立ち上げに必要なハード／ソフト経費を支援。 （※）本事例集はその一例を示したものである	「転住なき移住」を実現するとともに、地方への新たなひとの流れを創出する地方公共団体を支援。 ＜対象事業＞ ①サテライトオフィス等整備事業 ②サテライトオフィス等開設支援事業 ③サテライトオフィス等活用促進事業 ④企業進出支援事業 ⑤進出企業定着・地域活性化支援事業

＜デジタル実装タイプ TYPE別内容＞

TYP E3	データ連携基盤とアーキテクチャを遵守し、早期にサービスの一部を開始	・国費上限6億円 ・補助率2/3	・申請上限都道府県9事業
TYPE 2	オープンなデータ連携基盤を活用するモデルケースとなり得る取組	・国費上限2億円 ・補助率1/2	・市町村5事業
TYPE 1	優良なモデル・サービスを活用した実装の取組（相互運用性を考慮）	・国費上限1億円 ・補助率1/2	

○要件（左記TYPE共通）

- デジタルを活用して地域の課題解決や魅力向上に取り組む
- コンソーシアムを形成する等、地域内外の関係と連携し、事業を実行的、継続的に推進するための体制の確立

※TYPE2・3については、官民および民間事業者等での相互連携・デジタル原則への準拠を求める。

＜対象事業の例＞

TYPE2,3

Data-driven Urban Planning データ連携基盤を活用したスマートシティ構想等

TYPE1

観光MaaS 相乗りマタニティ スマート農業

母子健康手帳アプリ 遠隔ライブ授業



OYACO plus

健康手帳アプリ

お問合せ

一般社団法人ICTまちづくり共通プラットフォーム推進機構
(略称：TOPIC)

住所：群馬県前橋市大友町一丁目6-11

Mail：info@topic.or.jp

TEL：027-253-6650（平日9：00～18：00）

担当：皆川、羽鳥